

設計施工：スバナビルダー 曾我隆、沢田淳



【コンセプト】

過ごしやすい家に住みたい、廊下は昼間でも夜なのです、明るい通路になりませんか。

何時もの二つ返事で、任せなさい！調べる程にため息です。以前のリフォームで補助金絡みの断熱改修がされていますが、外部に面した開口部のみ、床壁天井の断熱はゼロに近い。40 数年前の施工ですから仕方ないといえぱそれまでです。

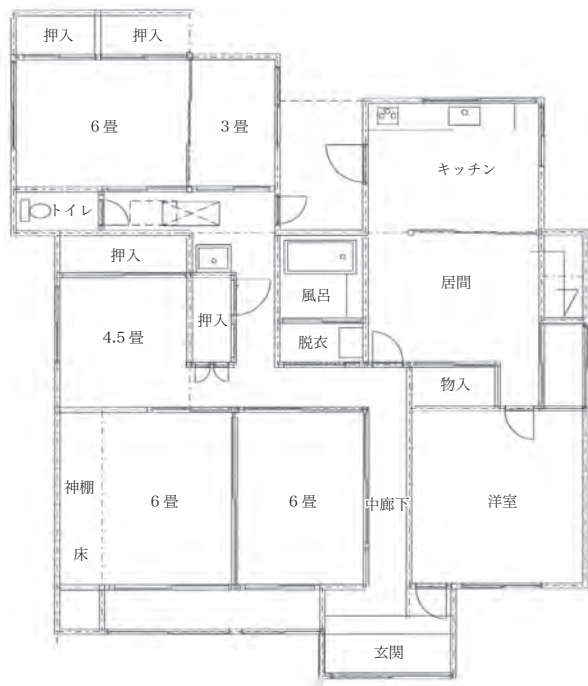
現場は山口市徳地堀、普通の農家住宅。家の正面を見ただけで間取りが頭に浮かびます。典型的な和風住宅、玄関中廊下挟んで左に和室二間、右に洋間、北側に台所、風呂洗面トイレ、寝室が有る。若夫婦が同居を機に北側に寝室、キッチンを増築し、トイレ、洗面は配置換え。

お陰で、廊下が昼間でも暗闇、冬は寒い寒い、夏は蒸し暑い、梅雨はジメジメ、使い勝手の悪い収納、何とか快適に暮らしたいと切なる願いです。

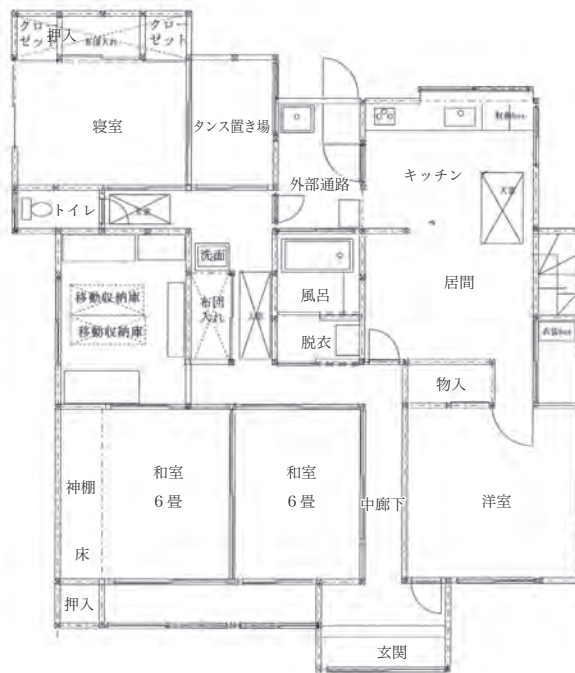
現在、夫婦二人暮らし、部屋数的には十分ですが、収納に一貫性が無い。使い辛いので和室 4.5 畳を収納部屋に改造し、収納棚は移動式にして狭いスペースを有効利用します。寝室通路の床は幼い頃に母に抱かれた優しい人肌を思い出す桐の 15 mm 仕上げ材、壁天井はクラフト紙を貼り、自然乾燥の 11 mm の野地板、仕上げは 11 mm の自然乾燥の杉板です。

断熱性能的にはロックウール、羊毛、セルロースファイバー、発砲ウレタン系にかなり劣りますが、居住感覚はエアコンを付けなくても室温が 30 度超えても部屋に入ると大袈裟ですが寒い！笑い。

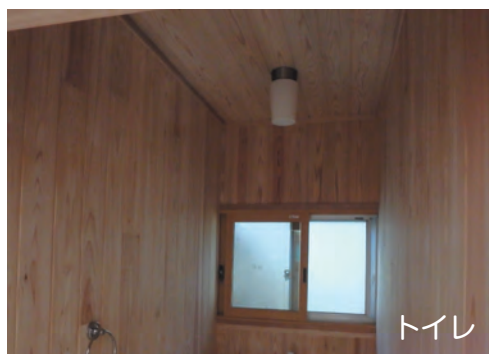
通路も部屋と同じ仕上げとし、明かりを取るのに天窓を付けました。居室であれば、勾配天井も選択の一つですが、増築された屋根の形状に加え狭い通路を考えると、明るいを優先。天窓側壁には天窓より入る光を室内に照射する意味でアルミシートを試験的に貼りましたが、大成功で、暗かった通路が野外のように明るくなったとお客様から大喜びされ、部屋も涼しい、床も足に優しい、快適と喜ばれ、施工者として嬉しい限りです。土に還る物で造り、自然の野山の再現が住居において人に安らぎもたらす事を再認識した施工現場でして、現在も進行中のリフォーム工事です。



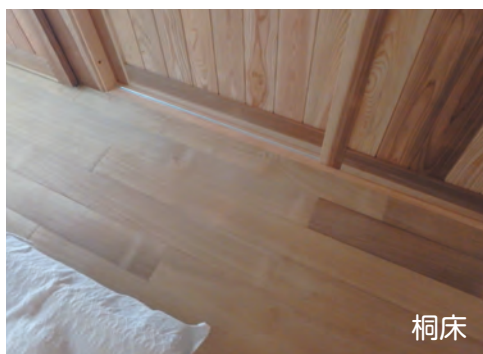
改修前平面図



改修後平面図



トイレ



桐床



寝室収納



天井下地



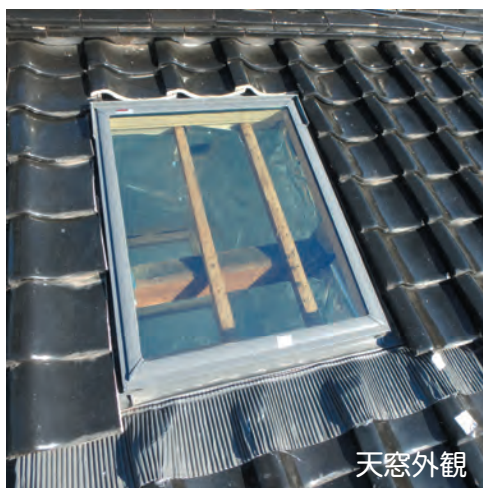
クラフト紙張り



11 mm野地板 + 11 mm杉板



天窓側壁アルミシート



天窓外観



天窓内観